

本部

「第23回JA横浜青壮年部ソフトボール大会」

6月21日、「第23回JA横浜青壮年部ソフトボール大会」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、かなり暑かったのですが、ソフトボール日和となりました。『きたグラウンド』、『東方公園』、『葛が谷公園』の3ヶ所で試合を行い、各会場かなりの盛り上がりで、参加されたチームみんな楽しくハツラツとプレーされていました。

今回も部員だけではなく、職員の方々にもご参加いただき、ソフトボールを通じて交流や親睦を深められたと思います。

各会場の結果は以下の通りです。

《きたグラウンド》

優 勝 和泉支部A

準優勝 新田支部A

《東方公園》

優 勝 田奈支部

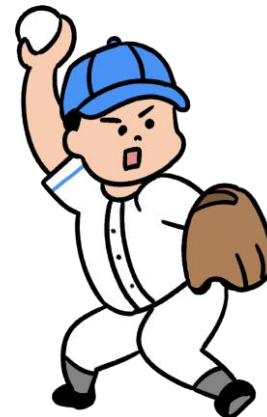
準優勝 本郷・豊田支部

《葛が谷公園》

優 勝 保土ヶ谷支部B

準優勝 保土ヶ谷支部A

参加された部員の方々、お疲れ様でした。また、応援に来ていただいた役職員の方々、各支店の職員の方々ありがとうございました。



本部

「活動実績・青年の主張発表会」

8月1日、『みなみ総合センター』にて、「活動実績・青年の主張発表会」が開催されました。

本年度の発表は3支部。講評は昨年と同様に、無記名で感想や改善点を書いていただく方法で行いました。また、JA横浜役職員だけでなく、たくさんの講評委員の方々にもご参加いただき、貴重なご意見やアドバイスを頂く事が出来ました。

発表者とタイトルは以下の通りです。

《活動実績の部》

牧野 博部員(戸塚支部)

「笑って育てて、走って焼いて粉まみれ
～戸塚支部の支部活性化フルコース～」

《青年の主張の部》

青木 啓充部員(瀬谷支部)

「この野菜しってる？」

井上 健太郎部員(田奈支部)

「Enjoy!!」

発表者の3名は緊張もあったと思いますが、それを感じさせない堂々とした発表でした。これからまた改良や調整を重ね、より良いものに仕上げ、10月22日に開催される「かながわFARM21」に向けて悔いのない発表が出来るよう、頑張っていたきたいと思います。



飯田

「米を学ぼう！皆で田植え体験！」

6月15日、泉区上飯田町の田んぼにて金沢支部、飯田支部の両部員、家族達合同の田植え体験を開催いたしました。
10年続いている田植え体験なのもあり、皆慣れた手つきで苗を植えていました。
また飯田支部OBの指導による乗用田植え機での体験では次々と植わっていく苗に「わー！すごい、面白い！」と乗った子供達は皆楽しそうでした。
体験終了後は飯田支部の部員が作った野菜をお土産に渡して、味わってもらいました。受け取った子供達も嬉しそうで、部員達も笑顔になっていました。
秋まではもう少し、その時には黄金色に輝く米を皆で収穫できたらと思います。
また、この体験を通じて一人でも多くの方々に食育を学んでいただけたらなと願っています。
支部OBの先輩方、応援で来てくださった仲間の皆様、支店長、理事、両支部部員、家族の皆さん本当にありがとうございました。



金沢 「ぴよっこ保育園」

『金沢ぴよっこ保育園』で園児たちの夏野菜と種もみを植えるお手伝いをしました。

夏野菜はゴーヤ・なす・トマト・ピーマン・オクラを植えました。

保育園の子供たちは事前に夏野菜のことを勉強していたようで、苗を見せてこれは「何の野菜かな？」と尋ねたら大きな声でちゃんと正解を答えていたので、よく覚えてくれていたなと感嘆しました。

また、今までミニトマトを植えていましたが、幼児がまるまる飲み込んで窒息する事故が起きないように、今回は普通のトマトに変更になりました。

種粃が成長して苗になった時、田植えのお手伝いもまた楽しみです。

最後に、園児たちに「楽しかった、って言ってもらえて良かったです。

(種粃)苗を育てるための種



都田

「産学連携 農業体験」

都田支部では6年前から、横浜市神奈川区の『横浜スイーツ&カフェ専門学校』との「産学連携プロジェクト」に携わっています。

飲食業界を志す学生に農業体験を通じて食の大切さと地産地消の意義を肌で感じてもらうことが狙いです。

本年度は、5月中旬に学生70人を対象にサツマイモ苗定植と小松菜の種まきの実習を行いました。

サツマイモ苗定植では、今回定植した「紅はるか」の特徴を説明した他、サツマイモの歴史や家庭菜園での応用の仕方等を伝えました。また、小松菜の種まきでは、実際に種まき機やクワを使って作業してもらい、農業用機械の仕組みや病害虫の防除方法等をレクチャーしました。

参加した学生からは「感謝の気持ちをこれまで以上に、食材を扱いたい」と嬉しい声を聴けました。

